

まやはや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.021

◆新年のご挨拶 患者さんの体に優しい、 きめ細やかな医療連携を目指して。

院長 野口正人

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、「ご挨拶を申し上げます。昨年は能登半島地震、中越沖地震が発生し、災害救護班を派遣して救護活動を行いましたが、今年は災害のない平穏な一年である事を祈りたいと思います。

また、昨年の参議院選挙では年金問題などの影響で与党が敗北して、参議院では野党が過半数以上の議席を占めるという

「ねじれ国会」が生じ、政局は不透明になつてきました。その影響で従来の医療費抑制政策がやや好転するようですが、医師不足や救急医療などの「医療崩壊」を救うにはまだ足りず、保健・医療・福祉に新たな費用を投入するという根本的な考え方の転換が必要でしょ。

赤十字病院は小手先の医療制度改革に惑わされることなく、人手のかかる医療に手を抜かず、患者さんが安全で安心できる医療を行う努力を続けていきます。そして、地域住民の皆様の一々に応える、「患

者さんの体に優しい」医療を行います。

今年は病院の目標を、地域医療支援病院としての役割を果たす事としました。昨年から始めた「きめ細やかな」医療連携（病院とかかりつけ医が役割を分担し、協働して行う治療）を更に進めていきます。

赤十字病院は、①急性期医療、救急医療を重点的に担い、②地域の医療レベルの向上に向けて研修会や勉強会などを開き、③高度の専門医療を地域に提供します。患者さんは是非かかりつけ医の紹介状を持つて、当院を訪れていただきたいと思います。

以上の改善を行いつの一年、良質の医療を求める地域住民の皆様の一々に応えられれば、幸いです。

最後になりましたが、皆様方の「多幸をお祈り申し上げますと共に、昨年同様の温かい」支援をお願い申し上げます。

病院の新たな医療機能として、本年1月から早期前立腺癌の小線源埋め込み治療を開始します。前立腺癌は最近増加しており、この治療の特徴は入院期間が4日と非常に短い事です。米国では手術よりも多くの患者さんに選択される治療法です。

また、3月に64列のX線検出器を持つ最新のCTを導入し、がん診療や狭心症など



福井赤十字病院 院長
野口 正人

福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもとに、
県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針

- 患者様の権利と尊厳を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を行います。
- 災害時に積極的な医療救援や救援活動を行います。



床ずれは予防できるの? じょくそう 褥瘡に対する チームでの取り組み。

お世話する人、される人。
双方にとって大切な褥瘡の話。



専門医チームで患者様をサポート。ベッドサイドにて治療を行っている様子。

褥瘡予防のため、専門家チームが頑張ります。

「床ずれ」ことを専門的な言葉で「褥瘡(じょくそう)」と言います。お年寄りを家庭で看取ることが当たり前のことだった頃には、死期を覚るひとつの目安などと考えられていました。ひと昔前の話のようですが、医療が日々進歩している現在においても褥瘡はなくならない病気の一つです。

褥瘡ができる原因は単純に「動けなくなること」とがその根本である事は今昔変化がないと言えます。褥瘡の予防の第一は寝たきりにさせないのですが「言うは安い、行うは難し」。昼夜問わない介護はほんとうに大変です。しかし、褥瘡の原因や治りにくい要因を調べてください。

当院は褥瘡対策検討委員会を設けています。医師7名、看護師6名、薬剤師、栄養士、医事サービス課、管財課事務計17名です。褥瘡についての専門的な知識を習得した皮膚・排泄ケア認定看護師も生まれました。また、患者様の直接的なケアを行う褥瘡担当の看護師(以下:褥瘡リンクナース)36名を各部署に配置しています。

皮膚科医師、栄養士、認定看護師は、褥瘡予防のため、専門家チームが頑張ります。この取り組みは、患者様の立場から見ると、とても嬉しいことです。また、月1回のカンファレンスを持ち、患者様からの貴重な経験が今後の活動に活かせるよう検討をしています。このような活動の効果は褥瘡の院内発生率1%以下というデータに表れていると考えていています。

以上、私たち褥瘡対策検討委員会・褥瘡リンクナースの活動について紹介させていただきました。これからもより質の高い医療が提供できますように、努力していきます。

ていくと何らかの病気が根底にあつたり、治療そのものが影響したり、あるいは日常生活のスタイルが問題だつたりと原因是單純ではないことが分かつてきました。多様な原因があるということは、いろいろな知識を持ち寄つて取り組むべき病気であり、また、専門的な知識を総合すれば褥瘡は

予防できるし治せるということです。医師・看護師だけでなく幅広い職種からなるチームで褥瘡対策が積極的に取り組まれるようになつた結果、全国的に褥瘡が発生する率は低下しました。

当院は褥瘡対策検討委員会を設けています。医師7名、看護師6名、薬剤師、栄養士、医事サービス課、管財課事務計17名です。褥瘡についての専門的な知識を習得した皮膚・排泄ケア認定看護師も生まれました。また、患者様の直接的なケアを行う褥瘡担当の看護師(以下:褥瘡リンクナース)36名を各部署に配置しています。



皮膚科医師、栄養士、認定看護師 上口 美恵

特集 2

万が一に備えて! 病院内の訓練報告

災害は忘れた頃にやってくるもの。そこで当院ではさまざまな訓練を実施。また、災害時の救急治療のための専門的な講習も行っています。

緊急時に活躍、DMAT隊員に合格。

DMATとはDisaster Medical Assistance Teamの略で「災害急性期に活動できる機動性を持つたトレーニングを受けた医療チーム」のことです。災害時、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的訓練を受けます。

この日本DMAT隊員養成に当院から医師と看護師の各2名ずつが参加。見事に合格し、厚生労働省から隊員登録証を贈られました。

今後災害発生時には日本DMA T技術を要した日赤救護班として、現地に派遣されます。

消防署とともに病院防災訓練。

去る11月6日、病棟における火災発生を想定し自衛消防や避難誘導、被災者救護活動など職員各自の役割分担と任務の周知徹底を図る火災防御訓練を行いました。

訓練には約150人が参加。本館8階の病室より出火、看護師による初期消火を行いましたが、延焼拡大の恐れがあつたため、火災通報装置で消防本部へ通報。入院患者や負傷した患者を7階または1階エントランスホールへ避難誘導。屋外には救護所を設

置し、傷病者が職員の介助やストレッチャーで次々と運び込まれたほか、屋上では患者を防災ヘリでつり上げるなど迫力のある訓練が繰り広げられました。

救急車による重症者の院外搬送、はしご車による一斉放水なども行われ、緊迫した訓練の中で、災害時の対応に対する職員の意識が高まりました。

また「ドクタークロス」を発令、緊急召集訓練も行い医師、看護師等コメティカル70名余りが現場に駆けつけました。



院
ひ
長
の
と
こ



Q お聞きします

超音波・内視鏡室での待合時間が長く、その間、移動しないよう言われました。待つのは構わないのですが、かなり長い時間になる場合は、PHSアナウンスで呼び出すなどして、待ち時間を使いたいと思うのですが。

A お答えします

外来待ち時間が長くなる場合には、患者様の「希望に応じて」PHSをお貸しし、診察呼び出しを行っています。超音波・内視鏡室においても、同様ですので、気軽にお申し出ください。
もちろんこれと併せて、職員からの「声かけ」も行っていきました。



非常召集訓練。

去る10月22日、福井市街地の中心部で早朝に大規模地震が発生したとの想定で、全職員を対象に、非常召集訓練を行いました。

午前6時20分、地震発生と同時に非常召集系統表に基づき、電話での召集を実施。その後、次々と職員が出勤。病院より3回圏内に住居がある者は徒歩での出勤となりました。午前7時30分頃には、ほぼ94%の580人が集まりました。

Topics

心温まるクリスマスを過ごしました。

12月19日(水)、毎年恒例の仁愛女子高等学校合唱部のみなさんによるクリスマスコンサートが中央ホールで催されました。今年は生徒さんによる「コント(漫才)」も交えながら、若さあふれる歌声と顧問の先生の力強い歌声に聞き入りました。「クリスマスマドレー」では「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」を会場のみなさんで歌つたり、とても楽しいひとときを過ごしました。

また12月21日(金)の夜にはキャンドルに火を灯し、看護師を中心とし職員200余名が、患者様の一日も早い回復を願いながら各病棟を周り、懇親な歌声をお届けしました。

昭和31年より始まり、昭和34年より大切に歌い継がれている曲「神よ人々を苦より救ひたまへ」は、当時本院に入院されていた患者様がこの情景をもとに病床で作詞、作曲されたもので、赤十字の看護師としての「喜び」「隣り」「責任」を強く感じる特別な曲です。

患者様の中には感慨深く手を合わせてくださる姿も見受けられ、厳粛さの中にもあたたかな雰囲気が感じられるクリスマスとなりました。



岸善原
おすすめ!

冬のレシピ (かにと春雨の甘辛炒め)

①しょうがとにんにくはみじん切り、長ねぎはぶつ切り。②かには食べやすいように切り分け、片栗粉をまぶして油で揚げる。もやしはよく洗い、春雨は軽く茹で2~3カ所切る。③フライパンに油を熱し、長ねぎともやしをサッと炒め皿にとる。④フライパンにもう一度油を熱し、しょうがとにんにくを炒め、香りがでたらAを注ぐ。⑤煮たったら②を入れひと煮立ち③を加えひと廻し、春雨を入れて炒め、最後にごま油をまわしいれる。



かには高たんぱく低カロリーのヘルシー食材。豆鉄や鶏、鶏などのミネラルも豊富です。かに身の赤い色はアスタキサンチンという色素で免疫力を高め、タウリンも豊富で肝機能の強化や血中コレステロールの抑制に役立ちます。

材料(2人分)／
たらばかに(ボイル超つき)100g、片栗粉50g、油 適量、もやし50g、春雨25g、長ねぎ1/8本、しょうが・にんにく各1/4かけ、サラダ油大さじ1、ごま油大さじ1、A:水1/3カップ、難がらスープの素小さじ1、醤油小さじ1、豆板醤小さじ1/2、砂糖・酒少々

徳力副院長に厚生労働大臣賞が授与されました。

厚生労働省では毎年、労働基準行政に長年にわたり多大な貢献をされた個人及び団体に対する表彰を行っていますが、本年度の「厚生労働大臣表彰」を、当院の徳力副院長が受賞しました。平成19年12月10日(月)、福井労働局において、被表彰者に対する表彰状伝達式が行われました。徳力副院長は、昭和62年10月に福井労働基準局労災診療費審査委員に就任後、平成9年4月からは福井労働局地方労災医員に就任、現在まで通算20年間にわたり、労災補償行政の運営に貢献しました。



福井赤十字病院

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
E-mail
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやはや

"ほやはや"と納得できる情報、できたて"ほやはや"の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌で、院内の広報委員のスタッフが毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。